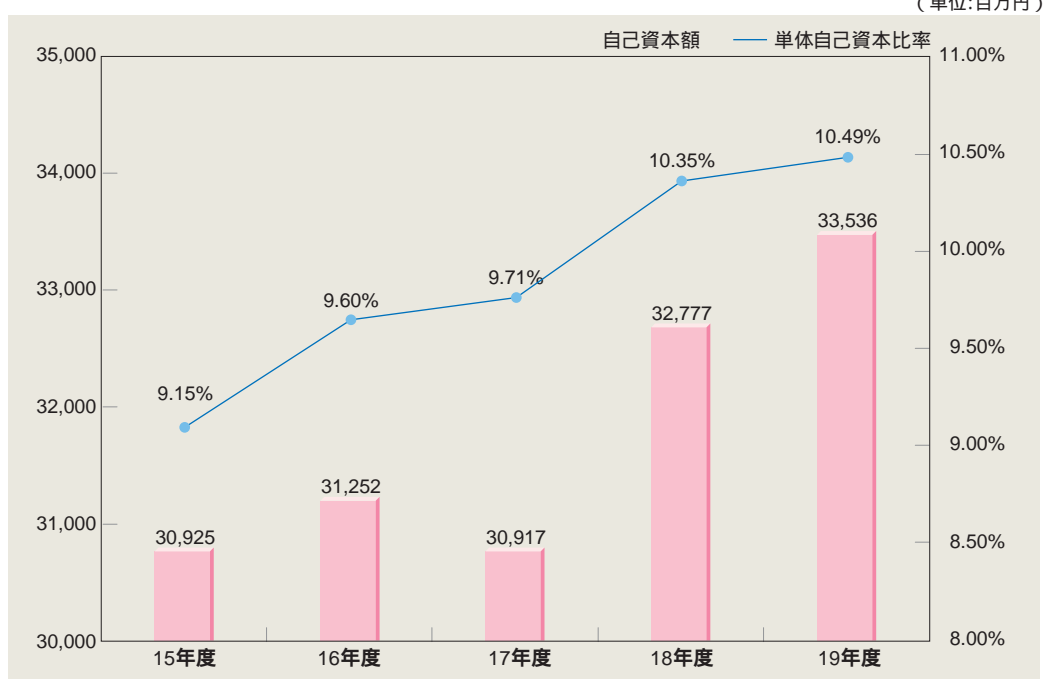


# いちい信用金庫は自己資本の充実に努めています

自己資本比率の推移



## 自己資本調達手段の概要

自己資本は、主に基本的項目(Tier1)と補完的項目(Tier2)で構成されています。平成19年度末の自己資本額は、地域のお客様からお預りしている出資金と利益の積立など、基本的項目を中心に構成され、堅実なものとなっております。

(単位:百万円)

	平成18年度末	平成19年度末
基本的項目(A)	31,650	32,541
補完的項目(B)	1,126	994
自己資本額(C)=(A)+(B)	32,777	33,536
リスク・アセット等(D)	316,506	319,578
単体Tier1比率(A/D)	9.99%	10.18%
単体自己資本比率(C/D)	10.35%	10.49%

(注)自己資本の構成に関する定量的な開示項目については、後記資料編(P38)に記載しております。

## 自己資本の充実度<sup>(注1)</sup>に関する評価の概要

平成19年度末の自己資本比率は、前年度に比べ0.14%上昇し、10.49%となりました。

自己資本比率全体で10%を超えているほか、Tier1比率(基本的項目がリスク・アセット等に占める割合)についても10.18%となっており、共に国内基準である4%を大幅に上回り、経営の健全性・安全性を充分保っております。また、各エクスポージャー<sup>(注2)</sup>がひとつの分野に集中することなく、リスク分散が図られていると評価しております。

所要自己資本の額(リスク・アセット×4%)は、12,783百万円ですが、当金庫の自己資本額は、33,536百万円と大幅に上回っております。

一方、将来の自己資本充実策については、年度ごとに掲げる事業計画に基づいた業務推進を通じ、そこから得られる利益による資本の積上げを第一義的な施策として考えております。

(注)1.自己資本の充実度に関する定量的な開示項目については、後記資料編(P39)に記載しております。

2.「エクスポージャー」とは、資産(派生商品取引によるものを除く)、オフ・バランス取引および派生商品取引の与信相当額です。